

---

---

# コンピュータを活用した総合的な学習

常盤小学校

---

---

## 1 単元名 6年 いざ鎌倉へ（修学旅行の計画と記録）

### 2 単元の目標

- (1) 現地での学習をもとに、グループ行動や集団生活において自ら考え判断し行動できる力を磨く。
- (2) 集団生活における約束やきまりを守り、お互いが励まし助け合う中で、仲間と協力し生活する楽しさを味わわせる。

### 3 指導計画の概要

- (1) 第1次 鎌倉自由行動の計画を立てよう…… 5時間
- (2) 第2次 いざ鎌倉へ…… 5時間
- (3) 第3次 自由行動の記録をまとめよう…… 6時間

### 4 情報機器活用の意図

本校では、児童の主体的な活動を促すために、修学旅行の中で自由行動を取り入れている。児童自ら情報を収集し、計画を立て、実行し、その成果を記録としてまとめる。インターネットが普及してきている現在、電車の時刻を調べたり、観光名所を調べたりするのもかなり容易になってきた。しかも、その情報量や質は多様になり、要求にあった情報が得られるという利点がある。

また、修学旅行後に記録としてまとめる活動に、スタディノートを活用し、他の班との情報交換をネットワークを通じてできるようにした。

### 5 研究の成果

#### (1) インターネット（自由行動の計画）

図書資料と合わせて、インターネットのホームページを利用し、児童の調べる活動の幅が広がった。閲覧したページをすぐにプリントアウトできるという利点もあるため、資料集めとして、有効に使われていた。江ノ電のホームページ（<http://210.224.201.13/eer/eer.htm>）では、各駅の時刻表を見ることができのほか、主な観光名所を調べることができた。また、検索エンジン（<http://www.yahoo.co.jp/>）を使ってさらに詳しい情報を集め、計画をより具体的なものに行っている班もあった。

ただ調べるだけでなく、実際に自分たちが現地へ行って町を歩くという目的のもとに調べることが、より児童の関心と意欲を喚起させていたと思われる。

#### (2) スタディノート（自由行動の記録）

修学旅行後に記録を作るソフトとして活用した。班ごとに撮影してきた写真を取り込み、感想や絵などを入れ、まとめていた。作ったページをネットワークを介して他の児童も見ることができ、他の班の行動を知ることができる。また、友達の報告書に対して意見や感想を返すことができるため、情報交換と共にコミュニケーションの道具としても有効であった。

〔児童の報告書の例〕



6 授業実践概要

